

浜田組組報

ホームページ

検索 浄土真宗 浜田組

第12号 2024年10月1日

発行 浄土真宗本願寺派 山陰教区 浜田組
責任者 組長 朝枝 成（金藏寺）

浜田組組長挨拶

ご挨拶、実践運動の更なる推進を目指して、

浜田組組長 朝枝 成

二〇二四年四月より、組長に就任させていただきました。

就任早々、浜田組主催親鸞聖人ご誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要があり、前組長服部浩明実行委員長を中心に多くの皆様のご支援ご協力のおかげで延約三〇〇人のご参詣を賜り盛大に勤修することができました。つつしんでお礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会情勢について、国内では、本年の元日に能登半島地震が発生、八月時点で、死者は三四一人。全壊家屋が六二七三棟にのぼり、山間地を結ぶ道路が各地で寸断されているため、インフラ・住居再建が困難を窮め

ているそうです。

世界に目を向けますと、二年前にロシアによるウクライナ戦争が勃発。事態は終息に向うどころか激烈さを極め、これに影響されてか、パレスチナ地域でのハマスとイスラエルの紛争で百万人を超える避難民が劣悪な環境下で不安な日常を送っています。

まさしく五濁悪世の只中に私たちは今翻弄されているといったいいと思います。こうした状況下に、十二年



前から宗門一丸となり推進してきた「自他ともに心豊かに生きることでできる社会の実現に貢献する」「御同朋の社会を目指す運動」（実践運動）は、ますます重要さを増しているように思われます。

阿弥陀仏になる前の法蔵菩薩は、もと国王であり、世自在王仏の説法を聴聞するやいなや、権力と身分を捨て、一人の修行僧（比丘）となり、やがて「あらゆる命を一つも漏らさずに救う」究極的救済の本願を完成なされる、そのエピソードの顛末が『無量寿経』に説かれますが、このご本願の御恩に報いる時が今まさに到来しています。

このたび第五期を迎える「御同朋の社会を目指す運動」（実践運動）に、浜田組の私たちも、更なる推進を目指して積極的に取り組んでまいりましょう。

四年間どうかよろしくお願い申し上げます。

山陰教区浜田組

「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」総合基本計画
二〇二四（令和六）年度～二〇二七（令和九）年度

1、基本理念

宗祖親鸞聖人は、『仏説無量寿經』に説かれた阿弥陀如来の本願に呼び覚まされ、弾圧と差別に苦悩しながらもお念仏喜ぶ民衆を「とも同朋」「御同行」と親しく交わり、ともに「自信教人信」の「無碍の一道」を歩んで往かれました。

現代社会は、他者や自然を自己の都合の良い道具や手段とみなす考え方が増長し、多様な価値観を認め合わず対立し、分断と差別がますます深まっています。こうした世の中で、人権や平和といった、ともに支え合って生きるための課題を学び確認し合うことは何よりも大切です。

3、実践目標

- ・〈貧困の克服に向けて
～Dāna for World Peace～〉
- ・子どもたちを育むために――
- ・寺院活動の復興と推進

4、達成目標

〈同朋社会部会〉

- ・ 貧困問題の克服に向けた取り組み
- ・ 平和と戦争、環境などの社会問題への取り組み
- ・ 差別問題への取り組み

〈寺院教化支援部会〉

- ・ 寺院機能の活性化、教化団体の連携、過疎対策
- 〈伝道広報部会〉
- ・ 時代・社会に即応する教学の学び
- ・ 文書視聴覚伝道

です。

浜田組では、「浄土真宗」のみ教えを聞き開いて、戦争や差別の

浜田組実践運動役員表

任期（2ヶ年） 2024年4月1日～2026年3月31日

委員長		副委員長	部会・部長	活動担当	委 員				◎は主任△主担当住職		
常任委員											
朝枝 成 (金蔵寺)	服部 真成 (正蓮寺) 猪口 彰顕 (超證寺)	同朋社会部 部長 (菅 和順)	同朋運動担当	組長	副組長						
			平和靖国担当	◎△菅 和順 (光現寺)	内藤 敦 (福泉寺)	近重 一平 (仏壮 光現寺)	沖野 桂子 (仏婦 真行寺)	原田 義則 (総代 浄念寺)			
			ビハーラ活動担当	◎森川 芳二 (会長 光西寺)	△小泉 敬秀 (萬泉寺)	安藤 正文 (安養寺)	内藤 敦 (福泉寺)	田中 信哲 (弘願寺)			
		寺院教化支援部 部長 (鎌原ヤシエ)	連研担当	◎藤沢 行治 (正念寺)	△岳田 忍司 (順興寺)	市野 寛生 (寛永寺)	日原 隆照 (光超寺)	佐々木 登貴枝 (門推 金蔵寺)			
			こども・若者ご縁 づくり担当	◎△細川 浄 (光西寺)	竺川 龍生 (浄光寺)	小泉 育代 (寺婦 萬泉寺)	佐々木 初子 (仏婦 順興寺)	岩谷 盛子 (仏婦 清岸寺)			
			念仏奉仕団担当	◎△服部 浩明 (清岸寺)	菅 等流 (光現寺)	安藤 敬信 (安養寺)	渡邊 哲彦 (真行寺)	黒堀 正見 (西岸寺)			
			門徒総代会担当	◎廣崎 勝美 (会長 光西寺)	△大原 孝見 (眞光寺)	内藤 大拙 (福泉寺)	菅 和順 (光現寺)	服部 憲孝 (浄念寺)			
			門徒推進員連絡協議 会担当	◎鎌原ヤシエ (会長 正念寺)	△藤沢 行治 (正念寺)	岳田 忍司 (順興寺)	市野 寛生 (寛永寺)	渡邊 美紀 (真行寺)			
			仏教壮年会担当	◎岡田 秋良 (理事長 寛永寺)	△猪口 彰也 (超證寺)	大原 孝見 (眞光寺)	佐々木 光敏 (寛善寺)	加納 真 (林蔵寺)			
			仏教婦人会担当	◎小笠原 順子 (委員長 清岸寺)	組長	△服部 次恵 (仏婦 清岸寺)					
			寺族婦人会担当	◎△藤澤 真紀子 (会長 正念寺)	組長						
			寺族青年会担当	◎△服部 慶信 (浄念寺)	菅 等流 (光現寺)	内藤 敦 (福泉寺)	安藤 敬信 (安養寺)				
		伝道広報部 部長 (市野寛生)	組講・勤式・公開仏 教講座担当	組長	副組長	会所住職	主事2名				
			組報・掲示板・HP 担当	組長	副組長	市野 寛生 (寛永寺)	服部 浩明 (清岸寺)	佐々木 千恵美 (門推 光現寺)			

2024年度 浜田組事業

御同朋の社会をめざす運動（実践運動）浜田組委員会事業

行 事 名	期 日	会 場	講 師	備 考
実践運動組常任委員会	5月31日	金蔵寺		
実践運動浜田組委員会	5月31日	金蔵寺		
実践運動僧侶研修会	9月3日	みどり会館	三ヶ本義幸師	広島北組徳行寺住職
実践運動推進協議会	9月3日	みどり会館	三ヶ本義幸師	広島北組徳行寺住職

	担 当	行事名	期 日	会 場	講 師	備 考
同朋・社会部	同朋運動	研修会	9月3日	みどり会館	三ヶ本義幸師	広島北組徳行寺住職
	平和靖国	研修会	2月	未定		「平和と戦争を考える研修会」
	ビハーク活動（ビハーク浜田）	総会・研修会	6月20日	萬泉寺	小泉敬信師	
		一日研修会	12月1日	萬泉寺他	小泉敬秀師	
		会報発行	年2回発行予定			
寺院教化支援部	連 研	連研既修者研修会	11月30日	順興寺	荒本由未師	
	子ども・若者ご縁づくり	組合同子ども会	8月25日	萬泉寺	龍谷大学伝道部	
		ワークショップ	6月1日	福泉寺		若婦研修会と合同開催
	念仏奉仕団	念仏奉仕団	9月24日・25日	本願寺他		
	門徒総代会	総 会	5月10日	清岸寺		
		研修会	7月6日	真光寺	荒本由未師	「お念仏に出会う」
		研修会	下期	未定		
	門徒推進員連絡協議会	総 会	5月28日	金蔵寺		
		公開講座	9月7日	金蔵寺	朝枝成師	「立教開宗800年」
		掲示伝道	毎月1回	組掲示板と各寺院へ 23ヶ所 26枚		
	仏教壮年会	総 会	6月2日	金蔵寺		
		研修会	2月11日	いわみーる	石橋純誓師	石見ブロック研修会併修
	仏教婦人会	総会・研修会	4月20日	金蔵寺	津田宝慧師	「お浄土は本当にあるの？」
		若婦研修会	6月1日	福泉寺		子ども若者ご縁づくりと共催
		会員研修会	7月21日	正連寺	小笠原弘之師	「お仏壇のお荘厳とお勤め」
	寺族婦人会	研修会	6月21日	清岸寺	住職	組内研修
			10月15日	広島		組外研修
			3月上旬	福泉寺	未定	組内研修
伝道・広報部	組講・勤式・公開講座	組講	6月15日・16日	光西寺	井上見淳師	龍大准教授・飯塚市 正恩寺
		勤式	6月15日	光西寺	小原静伍師	
		公開仏教講座	6月16日	光西寺	井上見淳師	「『歎異抄』第一条の世界」
	組報	第12号発行	10月1日発行			
	掲示板		門徒推進員による掲示伝道 月1回			
	HP	随時更新	http://hamadasohp.wixsite.com/home			

報恩講法要にお参りしましょう ～近くのお寺でお聴聞を～
 報恩講は、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ真宗門徒にとって最も大切な法要です。お問い合わせのうえお参りください。
※お席の有無につきましては各寺院にお問い合わせください。

No.	寺院名	期 日		講 師		備 考
1	光現寺	11月22日(金)・23日(土)	午後1時30分	福岡 妙泉寺住職	木村真昭師	
2	順興寺	11月25日(月)	午後1時30分	跡市 慈照坊前往職	三瀧香順師	
3	金蔵寺	10月19日(土)	午後1時30分	住職自動		立教開宗800年・金蔵寺 公称360年記念法要
		20日(日)	午後1時30分	住職自動		
			午後2時半	記念コンサート 朝枝恵利子(ソプラノ歌手)、三上翼(ピアニスト)		
4	覚永寺	11月18日(月)	午後1時	住職自動		
		19日(火)・20日(水)		鹿足 誓立寺住職	朋澤智弘師	
5	永楽寺	未定				
6	真行寺	11月17日(日)	午後1時30分	跡市 慈照坊前往職	三瀧香順師	
7	西岸寺	未定				
8	超証寺	11月9日(土)	午前10時30分	鎌手 西楽寺	川本義昭師	
9	真光寺	12月16日(月)	午後2時	桜江 長玄寺住職	岡本広樹師	
10	弘願寺	未定				
11	光西寺	11月23日(土)・24日(日)	午後1時30分	枚方市 浄行寺前往職 本願寺派布教使	義本弘導師	
12	福泉寺	11月12日(火)	午後1時30分	北広島町 専光寺住職	安本広樹師	
13	萬泉寺	10月24日(木)	午後1時	小国 光超寺住職	日原隆照師	
14	正念寺	10月31日(木)	午後1時	美郷 西念寺住職	岡田哲水師	
15	光超寺	10月30日(水)	午後1時	七条 萬泉寺住職	小泉敬秀師	
16	浄光寺	11月 9日(土)	午後1時	波積 光善寺住職	波北 顕師	
	今福説教所	11月16日(土)	午後1時	跡市 慈照坊前往職	三瀧香順師	
17	安養寺	10月20日(日)	午前9時30分	敬川 蓮敬寺住職	富金原真慈師	
18	清岸寺	11月11日(月)	午後1時・午後7時半	佐伯区 西法寺住職	吉崎哲真師	
		12日(火)	午後1時			
19	浄念寺	11月 8日(金)・9日(土)	午後1時	三隅 西方寺住職	河野慈演師	
20	覺善寺	10月27日(日)	午前10時	本郷 清岸寺住職	服部浩明師	報恩講
			午後1時			親鸞聖人御誕生850年・ 立教開宗800年慶讃法要 覺善寺第二十世住職 継職奉告法要
21	正蓮寺	10月28日(月)・29日(火)	午後1時	熊本県大津町 光行寺	保々眞量師	
22	林蔵寺	11月 5日(火)	午後1時	広島仏教学院講師	中村英龍師	

山陰教区浜田組 親鸞聖人御誕生八五〇年・ 立教開宗八〇〇年慶讃法要

四月二十八日（日）に浜田組親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要を執り行いました。長い歴史を振り返るとともに、親鸞聖人のご誕生を祝い、浄土真宗の教えに出遇えたことの喜びを込めて勤める法要です。午前中に厳かな雰囲気の中、帰敬式が行われ午後には雅楽の音色に彩られた法要と奈良県光明寺住職の三浦明利師によるトーク＆コンサートが行われました。

午前からの法要では、伝供（仏前に華・灯・香を手から手へ伝え渡して供えること）から始まり、「宗祖讃仰作法 音楽法要」を皆さんとお勤めをいたしました。本堂中に雅楽の演奏と皆さまのお勤めの声が響きわたっておりました。法要の後、三浦明利師による記念講演がありました。三浦さんはアコースティック・ギターとピアノによる弾き語りで、全国各地で演奏活動を行われています。皆さんの知っている曲も混ぜてたくさんのお歌を披露していただきました。ご協力、ご参加いただいた皆さまのおかげさまで素晴らしい慶讃法要となりました。



浜田組念仏奉仕団十回表彰

清岸寺 服部 浩明

九月二十四（火）日、二十五日（水）浜田組念仏奉仕団を参加者十二名で実施いたしました。

新浜田組として平成二十五年に第一

念仏奉仕団

一回浜田組念仏奉仕団をスタートして以来毎年実施してきました。

途中コロナ禍で中止の年もありましたが今回で十回目となりました。

この度は秋季彼岸法要中であり、初日は午後から国宝の書院鴻之間の畳拭きのご奉仕に続き、ご門主と面接・記念撮影、ご法話を聴聞しました。

二日目は全員お晨朝に参拝、二名の方が帰敬式を受けられました。奉仕は、本山の厳肅な彼岸満日中法要（阿弥陀經作法）に参拝となりました。閉会式では団体として浜田組十回表彰、個人表彰として十回目となる三名が表彰されました。

午後からは、大河ドラマ「光る



君へ」の主人公のひとり藤原道長の長男藤原頼道が建立した宇治平等院（世界遺産）を拝観しました。極楽浄土の宮殿をモデルにした鳳凰堂は阿弥陀如来坐像を安置する阿弥陀堂で十円硬貨のデザインでも知られています。

念仏奉仕団について、前御門主は「念仏奉仕団の方々のご奉仕と晨朝法要での正信偈のご唱和は本願寺の宝であります」と言われました。

昭和二十八年から続くこの念仏奉仕団の喜びに多くの皆さまに出遇っていただき、その喜びが一回から十回へと繋がることを願っています。

活動報告

浜田組組会

五月十日（金）に旭町本郷の清岸寺にて浜田組組会が開催されました。組会は組内各寺院から選出された僧侶・門信徒各一名の組会議員により、浜田組の運営について協議する重要な会議です。執行部より提案のあった事業報告・決算、事業計画案・予算案等について協議され原案通り承認されました。

任期満了に伴い、今年度より新しい体制のもと「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」総合基本計画（二頁参照）に基づいて活動していきます。

実践運動浜田組委員会

五月三十一日（金）国分町の金藏寺にて「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」浜田組委員会が開催されました。新体制のもと今期より新たに計画された重点プロジェクトの説明が行われ、各教化団体および当より今年の活動計画を確認しました。

浜田組組講

六月十五日（土）、十六日（日）に原町光西寺を会場に浜田組組講が開催されました。

本願寺派司教、龍谷大学教授の井上見淳先生にお越しいただき、「三業惑乱の起源と概要」聖人一流の道を護れろ」というテーマでお話をいただきました。

組外からもたくさんの方にご参加いただき有り難うございました。また、十六日（日）午後からの仏教公開講座にもたくさんの方にお参りをいただき、井上先生のあたたかいお話を聞かせていただくことが出来ました。



門徒総代会総会・研修会

五月十日（金）に旭町の清岸寺を会場に、浜田組門徒総代会総会を開催いたしました。また、七月六日（土）には、清水町の真光寺にて研修会が開催されました。研修会では、大家 西臨寺住職・荒本由末師より「お念仏に出遇う」と題してお話をいただきました。暑い日でしたが多くの総代の方々に参加いただきました。過疎の現状を赤裸々に語っていただく中に有り難いご法義のお話も聞かせていただくことが出来ました。



実践運動研修会・協議会



九月三日（火）午前中に金城町のみどり会館において、実践運動推進僧侶研修会が開催されました。講師には広島県の徳行寺住職の三ヶ本義幸先生をお迎えし災害ボランティアや貧困の克服への取り組みについてお話をいただきました。また、午後からは実践運動推進協議会が開催され、「晩飯まだ？身近なエンダーギャップを見つめ直してみよう」というテーマで、寺族、各教化団体役員の方々と一緒に学びを深めました。

門徒推進員連絡協議会

五月二十八日（火）に国分町の

金藏寺にて総会が行われ事業報告・決算、事業計画案・予算案が協議されました。九月七日（土）には国分町の新蔵寺にて門徒推進委員連絡協議会第十二回公開講座が開催されました。金藏寺住職の朝枝成師には講師もお願いし、「立教開宗八〇〇年」と題してご懇切なお話をいただきました。

仏教婦人会

今年度は四月二十日（日）に国分町の新蔵寺にて総会が開催されました。総会後の研修会では、天蔵寺住職 津田宝慧師より「お浄土は本当にあるの？」と題してお話をいただきました。

六月一日（土）には浜田組FCYと合同で若婦研修会が開催されました。

七月二十一日（日）には、会員研修会が旭町木田の正蓮寺にて、行われました。講師には、大田市の玉泉寺住職の小笠原弘之師にお越しいただきました。「お仏壇のお荘厳とお勤め」というテーマで、基本的なところを中心に懇切丁寧にお話をいただきました。

子ども若者ご縁づくり

六月一日に金城町下原の福泉寺にて、浜田組仏婦&浜田組FCYと合同開催の若婦人研修会にて、謎解きワークショップを開催しました。お寺に若い世代が集う機会が減ってきた昨今ですが、終始和気あいあいと楽しい雰囲気です謎解きタイムを過ごされました。

仏教壮年会

六月二日（日）に国分町の新蔵寺を会場に、浜田組仏教壮年会総会が開催されました。二〇二三年度事業報告ならびに二〇二四年度事業計画について話し合われました。

平和と戦争を考える研修会

二〇二四年二月二十五日（日）に有福の光現寺にて平和と戦争を考える研修会が行われました。講師には、三次市 西善寺住職の小武正教師にお越しいただき、「続・この国この教団の危機と真宗」と題してお話をいただきました。組内外問わず様々な方にご参加をいただきました。

金蔵寺

寺号に想いを巡らせて

「金蔵」とは、『無量寿経』で、世自在王仏より遡る過去五十三仏の十八番目に挙げられ、これを典拠として寺号に採用したと思われる、寛文五（一六六五）年、第五世住職西玄師によつて認許の手続がなされました。金銭や金塊を多く所蔵しているかの如き印象で褒められ困惑することがありますが、本来の意味は、金とは仏性、悟りを開く可能性のことですし、実際のところ、大金を所蔵するどころか、境内の至る所には石瓦と雑草だらけが実状です（苦笑）。

浜田組寺院紹介～第二弾～

数年前、あるご婦人の訪問があり、福屋と自ら名乗られ、「金蔵寺には金の茶釜があるはずで、朝鮮出兵から帰国した加藤清正一行に御宿をかけた返礼で秀吉様から頂戴したものですよ」と話されました。唐突な話に返るに窮していると、「福屋家伝承の縁起に証文がありますから、本当です」と重ねて念を押されました。そのご婦人が帰られた後、西玄師が福屋氏出身であったことに気づき、あながち根拠のない作り



話でなく、「金の茶釜所蔵の寺」という意味が暗に込められているかもと胸踊る思いを持ちました。ただし、肝心の「金の茶釜」の実はどこにも見当たりません。親鸞聖人は、石瓦礫のごとき田舎の人々に金剛に輝く信心（まことのこころ）を見出し、心から敬い共に聞法されましたが、「よく瓦礫をして変じて金に成さしめ」る聞法道場の「金蔵寺」でありたいと思います。

しょうねんじ 正念寺

龍瀧山正念寺は、一六四八年開基教西法師によつて寺院として開創されました。

当時は小国の二子山にあり、約三百五十年前地域の人々の大いなる懇願により参詣・往來の利便を考え現在の地に建立されました。爾来、先祖代々多くの門信徒の方々の冥助により、お念仏の法灯は連綿と絶える事な、今日に及んで居ますことは、何物にも代え難いよろこびであり、皆さまのおかげと、感謝しております。

しかしながら、現在世帯数約七十九件、人口百五十二人の小国地区において人口減少や高齢化は、地域やお寺だけではなく一人一人



の課題となつていきます。そうした中で寺院の果たすべき役割を再考し、地域の中でなくてはならない存在として、みんなが集える場所としてあり続けて行けるように努力しなければならぬことを痛感しております。当山は雪深い地にあり、夏の涼しさが自慢でしたが、この夏は小国も猛暑となりました。新緑や紅葉の時期に小国にお越しください。お待ちしております。